

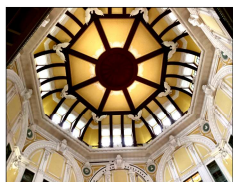
J-Trial夏 第1弾 江戸城に行こう



7月8日(土)9時30分に参加者が東京駅丸の内中央口広場に集合しました。

東京丸の内駅舎は辰野金吾氏(1854-1919)が設計した3階建て全長335mのレンガと鉄筋造りによる駅舎です。関東大震災にはびくともしませんでした。戦後再建されましたが、資材不足で見た目も大きく変わってしまったのです。

2007~2012年の復興事業で現在の姿になりました。八角形ドームの天井(写真↓)に取り付けられた8羽の鷲や8つの干支のレリーフ



も復元されています。21世紀に生きる私たちが創建当初の姿を見ることができるのは奇跡です。

皇居東御苑へ



その東京駅から皇居東御苑の大手門までは、徒歩15分です。入り口で手荷物検査を受けて無事入苑できました。

御苑内の石垣が徳川氏の威信を表しています。石の大きさ、緻密な積み方が戦国時代城郭のそれとは全く違います。

天守台の石垣にも目を見張りました。しかし、徳川260年の歴史で天守があったのは、たったの50年間だったことは知りませんでした。明暦の大火(1657年)で焼失した後は造

られなかったのです。



モデルコースは次のように決まっていますが、各自が興味のままに散策をします。

大手門→二の丸庭園→百人番所→富士見櫓→松の廊下跡→大芝生広場(本丸の大奥、中奥、台所、表等がありました)→江戸城天守復元模型→天守台→平川門で再集合です。



平川門に再集合し、その外にある太田道灌公追慕碑に詣でました。5月に、川越で道灌公銅像の前で記念撮影したばかりです。川越城も江戸城も道灌公が築城しました。

平川門



復元模型



半蔵門と八王子

大手門の反対側にあるのが半蔵門です。徳川家康の家臣服部半蔵正成にちなんで名づけられたと言われています。この半蔵門から続く甲州街道を通って、将軍を天領の甲府まで緊急避難させる計画があったようです。その時には八王子の千人同心も働いたことでしょう。

明治以降の江戸城

無血開城後の江戸城は、明治政府によって改修され、名称も「東京城」と改められました。城内の建物や構造物は

一部が取り壊され、政府庁舎や軍事施設が建てられました。軍事拠点であったため、太平洋戦争時は空襲の標的となり大きな被害を受けました。

戦後の復興とともに、この皇居東御苑も整備され、現在は、外国人観光客が多く訪れています。

参加者の感想

○江戸城の歴史や、その周りの地形などを知れて良かったです。江戸城の模型は細部まで綺麗にできていてびっくりしました。(写真↑)

○自分の住んでいる近くに江戸城のような立派なお城がないので、良い経験になりました。石垣や城の周りの堀すべてが大きく、昔は將軍家の人々が住んでいたと考えると新鮮で、本当に天下統一した人が住む家はこんなに迫力があるのかと思いました。